



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『あなたがたも離れて行きたいか』

聖書(ヨハネ福音書6章67節)

牧師 河合裕志

イエスの弟子は12人だけれど、実はこの周りに更に72人も弟子達がいた(ルカ10・1)。この大きなサークルの弟子達に異変が生じることに。一人また一人とイエスのもとを去って行く現象が起きた。

何んでそんなことに。それはイエスの乱暴な言葉に起因。『わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる』とイエスは言った。これ過激じゃない？人食い人種じゃあるまいし、イエスの血肉を飲食するなんてとんでもない。

これはイエスの犠牲を言ったものだけれどそこまでわからない。「実にひどい話だ」と言って、「弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった」。仲間がグループから離脱することは悲しいこと。この時イエスは残った12弟子に『あなたがたも離れて行きたいか』と言ったのだった。イエスの心境はいかに。A. 離れて行きたいなら離れて行ってもいいよ、無理に引きとめないよ。B. 離れないでほしい。君達だけはどこまでも踏みとどまっていたほしい。

どちらにもとられそう。Aはイエスの強さを、Bはイエスの弱さを現わしているかも。私としてはBの方がより卒直なイエス

の思いかな、と。イエス亡きあとの事業を引継ぐ人々が必要。このためには十二人には離れて行ってほしくなかった。

さてこのイエスの問いかけに弟子の代表のペテロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています」。さすがペトロさん、力強い、頼りになる。この返答にイエスはニコツとしただろうか。してもよいのに厳しい顔、あるいは悲しい顔で言った。『あなたがた十二人は、わたしが選んだのではないか。ところが、その中の一人は悪魔だ』。これはユダの裏切りを察知した言葉。ユダへの反省を促す言葉とも。

結局ユダも脱落することに。ペトロだってイエスの逮捕の夜には、イエスなんて知らないで裏切り行為を働いてしまった。最後にはイエスの味方は一人もいなかった。今の私達だって将来どうなるかわからない。

「主なるイエスよ、私はあなたのために生き、苦闘し、死にます」と言って終生イエスにつき従った植村正久牧師のように歩めれば幸い。とに角誰であっても人を裏切るのはよくないこと。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時